

# 昭和50年度 和歌山県文化奨励賞

## なん き し だん かい 南葵史談会

創 立：昭和33年

所 在 地：和歌山県和歌山市

会 員 数：72人

### ◎業績及び経歴

南葵史談会は、昭和33年11月に井辺喜四郎・横井精一両氏の提唱されたものを県立図書館が採用して、小林国太郎・岩崎辰次郎・吉田三省・有江富造・田中敬忠・貴志康親・諸氏の賛同が加わって発足した郷土史の集会である。

郷土の歴史を、お互いに語り合い聞き合い、その記録を県立図書館に残して行こう。そこにお互いの郷土愛の証を毎月確め合い、謙虚に郷土愛の標柱を構築しようという会合である。

いわば純粹の「語部」の集会である。

以来19年にまたがって、ただ一度の休会のほかは毎月休むことなく、例会を第二土曜日に206回積み重ねて今日に及んでいるが、会長を置かないことと会費の低廉とを不文律としてユニークな運営がなされている。

そして阿波郷土会や粉河史談会等との交歓会や明治百年記念の田中善蔵碑移建の提唱等に、控目な社会活動も記録され、著作や文献発掘で県内外に著名な会員や、文化活動で受賞・叙勲の栄に輝く幾多の会員を擁し、歴史学会誌などにも全国的に取り上げられ本県文化界に独自の歩みを続けている。